

令和 7 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立有田中央高等学校清水分校 校長名：木本 匡紀

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

【目指す学校像】

・地域の教育資源を最大限に活用した、分校ならではの特色ある学校。

【育てたい生徒像】

・学んだことや体験したことを活かして、自ら考え、行動ができる。

・基礎学力・コミュニケーション能力を身につけ、自己肯定感を高め、自分に自信が持てる。

・地域の産業や自然環境・社会環境についての理解を深め、社会から信頼され社会に貢献できる。

・他者と協働して課題解決に取り組み、生涯をととして学び続ける姿勢を身につける。

・自己と他者を尊重し、様々な在り方を認めることができる。

学校評価の公表方法

年度末に、生徒・保護者等の学校評価結果を関係者に知らせるとともに、学校のホームページに掲載する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。	（80%以上）
	B	概ね達成している。	（60%以上）
	C	あまり十分でない。	（40%以上）
	D	不十分である。	（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）								学校関係者評価（ 月 日実施）	
番号	計画・取組				評価（ 月 日現在）				
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策		
1	生徒の実態に即したわかる授業を実践し、個々の学力を確かなものにする。	B	ICT の活用を推進するなど、授業改善に取り組む。	ICT を活用した授業が実施されているか、生徒がタブレットを効果的に活用できているか					
			基礎学力の定着に向け、学び直し・漢字学習を充実させる。	学び直しの時間を確保しているか。生徒が自主的に行う漢字学習の成果を確認しているか。					
			家庭学習の定着につながる取組を充実させる。	生徒が主体的に学習できる教材の作成に取り組んでいるか。					
2	基本的生活習慣の確立及び教育相談の充実。	B	挨拶の励行、みだしなみ指導の徹底等、規範意識を向上させる。	授業中のマナーや身だしなみに関する指導がしっかりと行われているか					
			生徒の情報について教職員間で共通理解を図る。	職員会議で生徒情報を共有する時間をとっているか。支援委員会を定期的に開いているか。					
			S S Wや地域の関係諸機関との連携を充実させる。	必要に応じてケース会議等が開かれているか。					
3	キャリア教育を充実し進路意識を高めるため、個に応じた指導を徹底する。	B	三者面談等を通じて生徒・保護者との意思疎通を図る。	進路決定について、三者面談等を行い、生徒・保護者の希望が充分反映されたか。					
			就職・進学に向け、面接指導や補習を充実させる。	生徒全員の進路希望が叶えられているか。					
			インターンシップや職場見学を積極的に実施する。	企業説明会や企業見学が計画的に実施されているか。					
4	学校開放や地元学校との交流に努め、地域に根ざした学校づくりを推進する。	B	地域の人的・物的資源を教育活動に積極的に取り入れる。	地域産業、福祉施設等と連携した体験的な授業が行われているか。					
			地域住民との交流の機会を設け、高校生としてできる地域貢献を推進する。	文化祭の在り方を検討し、地域の方々との交流をより深めることができたか					
			地域小中学校との連携を進め職員・生徒間の交流を推進する。	学期に1回以上の小中学校訪問や職員・生徒間の交流ができているか。					
			情報発信の方法・内容を充実させる。	行事の様子を伝える動画など、ホームページの内容をさらに充実させているか					